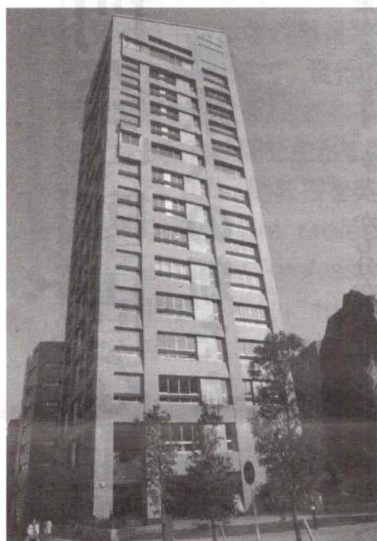
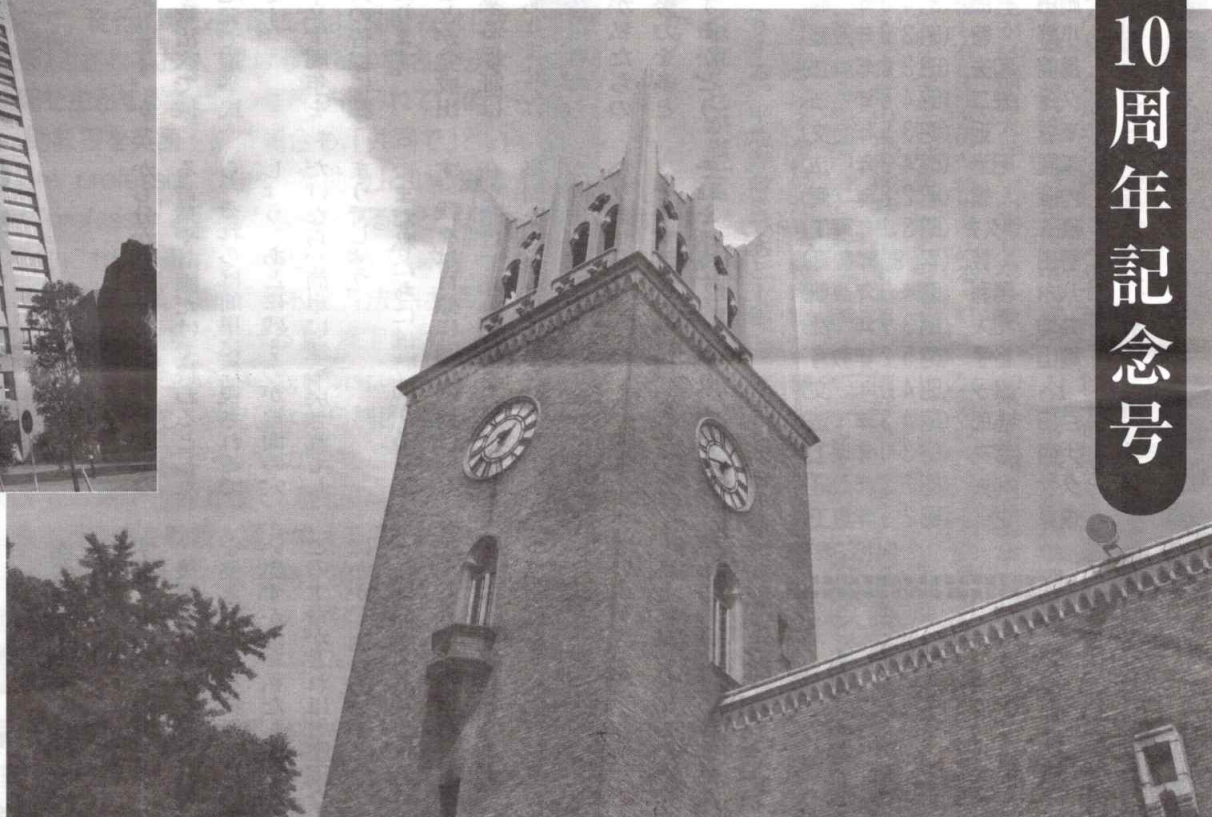




大隈講堂(右)
大隈記念タワー(左)



10周年記念号

生まれ変わる大隈講堂

すべての早稲田人の「心の故郷」大隈講堂。昭和二年の竣工以来、早稲田大学のシンボルとして歴史を重ね、平成十一年には都の歴史的建造物に指定されました。それが平成十九年九月までに大改修され、早稲田大学を象徴する多機能型文化ホールとして再生されます。

改修にあたり、内外とも建築の形態やデザインは継承されるのが基本です。その上で現在、そして将来に向けて、高機能性の付加、快適性・安全性・耐久性の向上を図ります。

しかし、大隈講堂は歴史的な建築物であるため、改修には制限もあります。そのため大講堂は、その秀逸な空間性を損なうことなく機能をできるだけ付加・向上させます。冷暖房設備も新設されます。

小講堂は、映像ホールとして再生・進化させるとともに、耐震補強・バリ

アフリーへの対応など、最新の機能が加えられます。

また大学では、大隈講堂周辺の正門整備の一環として、本年二月に正門前に「大隈記念タワー」を完成させました。(左上の写真)

高さ百二十五尺の大隈講堂の時計台が大学の百二十五年の歴史、すなわち「第一世紀の早稲田」の象徴であったのに対し、二百五十尺(七六咫)の高さを誇るこのタワーは、十階に設置された「百二十五記念室」とともに「第二世紀の早稲田」を象徴するシンボルとなることを願って設計・建設されました。

この大隈記念タワーでは、主として大学院公共経営研究科の授業が行われます。また、十五階には「レストラン」「西北の風」「十六階には「校友サロン」が、校友のために解放されています。(編集)

目次



大隈講堂の天井

生まれ変わる大隈講堂	編集	高鷲 近	1
会長挨拶	会長	山下邦康	2
活動計画と予算・役員紹介	役員	会	2
寄稿「夏の思い出」		森川節子	2
インタビュー「私とゲーテとの出会い」		重原真知子	3
総会の案内		編集部	3
特集Ⅰ・東村山稲門会設立時の経緯		編集部	4
寄稿「傘寿までテニスとゴルフのプレーを目標して」		吉田 勝	4
特集Ⅱ・東村山稲門会の活動		編集部	5
寄稿「老いを楽しむ」		藤澤博恭	5
同好会の活動			6
特集Ⅲ・東村山稲門会の夢		編集部	6~7
東村山稲門会の歌			6
ポストマンくぱりある記		久米川町	7
早稲田ニュース		編集部	7
西北の風「ホストファミリー四年生」		吉高太郎	8
ショート・SHORT		遠藤誠・関一誠・姫野圭治	8
事務局から		事務局	8
編集後記		岡田一郎	8

東村山稲門会役員

会 長	山下 邦康	(昭36年教育)
副会長	小亀 輝雄	(昭34年 商)
	(事務局長兼任)	
幹 事	長井 治	(昭29年 法)
	三宅 良太	(昭36年 商)
	伊藤 友己	(昭51年政経)
	岡田 一郎	(昭40年 商)
	小野 智	(昭30年政経)
	風周 和夫	(昭30年 法)
	久保 栄二	(昭46年 法)
	高鷲 近	(昭35年 文)
	當間 昭治	(昭43年 法)
	内藤 慎	(昭28年 商)
	額田 伊久夫	(昭31年理工)
	野田 数	(平9年教育)
	八木 勝利	(昭47年政研)
会 計	井垣 和太	(昭37年 商)
会計監査	崎山 裕子	(昭52年教育)
	上 素子	(昭40年 文)
相談役	戸田 志郎	(昭43年 法)
顧問	大西 幸夫	(昭30年理工)
	久世 利夫	(昭22年政経)
	塩見 之一	(昭25年専工)

(H18・9現在)



来る保証は
ありません。
後継者たち
が私たちの
努力を多と
するかどうか

そうすればあとに続く人たちは
それを無視することも、土台を崩
れかねません。

あとに続く後輩のためにも手を
休めるわけにはいきません。将来
この稲門会が担い、支
えるどんな重い役割に
も耐えられる土台を築
いておく心構えが問わ
れています。

私たちの稲門会は新
しい時代を迎えます。
「人心一新」の合言葉通
り、さらなる希望の扉
を目ざしたいものです。
(S36教育)

「稲門会」堅固な土台を

継承への新たな期待

会長 山下 邦康

私の好きな言葉があります。か

つてアメリカの著名な政治家で彼
が有名になる前に、地元で選挙民
を前に演説した草稿です。

東村山稲門会が設立十周年を
迎えるこのとき、会員の皆様に私
が贈りたい言葉でもあります。

私も分かりません。私たちが単な
る言葉や計画だけで終わるとした
ら、それらは簡単に無視されるで
しょう。あとに残すのが地面の穴
だけなら、簡単に埋め戻されてし
まうでしょう。

すことも出来ないでしょう。
後継者たちがその土台の上に何
を築き、どんな新しい可能性を見
出すかは、私たちが築いてきた
この土台がどれほど堅固なものか
にかかっているのです。」

私は稲門会の「現状と将来」を
思うとき、この言葉を置き換えて
考えることにしています。私たち
世話役はもちろん、会員の皆様は
今、まさにこの土台づくりに努め
ている最中です。

06年度活動計画(案)

- 1 第十一回総会開催(十一月二十五日)
設立十周年記念事業「ボー・ジャック
ス」と歌おこし公演開催(総会当日)
- 2 講演会「東村山稲門会」の開催
開催日は原則として奇数月の
第一土曜日又は第二土曜日
役員会及び懇親会の開催
原則として毎月第一土曜日又は
第二土曜日の午後開催
奇数月は講演会の前実施
懇親会は夕刻より開催
新年会(正月)・花見会(四月)
納涼会(七月)・お誕生会(毎月)の
開催
- 3 各種同好会の活動
新規同好会の発定促進
同好会の活動活性化と支援
会報および月刊「ユース」の発行
会報は年一回、十月初旬発行
「ユース」は毎月十・十二回発行
会員名簿の発行(十月)
会員増強運動展開
早大一二五周年事業への協力
支部・近隣稲門会との交流
女性会員増強と活動の拡充

06年度予算(案)

11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1																					
女性会員増強と活動の拡充	支部・近隣稲門会との交流	早大一二五周年事業への協力	会員増強運動展開	会員名簿の発行(十月)	二コースは毎月初旬十二回発行	会報は年一回、十月初旬発行	会報および月刊「ユース」の発行	同好会の活動活性化と支援	新規同好会の発定促進	各種同好会の活動																					
納涼会(七月)・お誕生会(毎月)の開催	懇親会は夕刻より開催	新年会(正月)・花見会(四月)	新年会(正月)・お誕生会(毎月)の開催	奇数月は講演会の前に実施	原則として毎月第一土曜日又は第二土曜日の午後開催	奇数月は講演会の前に実施	役員会及び懇親会の開催	第一土曜日又は第二土曜日	講演会(東村山雑学講座)の開催	設立十周年記念事業「ボニージャックスと歌おこし」公演開催(総会当日)																					
収入の部	前年度からの繰越金	1,465,000	年会費	770,000	総会時懇親会費	360,000	新年・花見・納涼会費	450,000	東村山稲門会組織強化補助	105,000	大学一二五周年募金	330,000	寄付等	50,000	合計	5,300,000															
支出の部	会場費	30,000	講師謝礼	100,000	会報「ユース」等制作費	300,000	十周年事業費用	000,000	総会時懇親会等費用	500,000	新年・花見・納涼会	450,000	他会の参加費	110,000	大学一二五周年寄付	330,000	// 二多摩支部分	30,000	事務通信費	180,000	事務用品費	150,000	同好会補助費	100,000	その他雑費	50,000	予備費(含繰越金)	200,000	合計	3,530,000	
単位:円	単位:円	単位:円	単位:円	単位:円	単位:円	単位:円	単位:円	単位:円	単位:円	単位:円	単位:円	単位:円	単位:円	単位:円	単位:円	単位:円	単位:円	単位:円	単位:円	単位:円	単位:円	単位:円	単位:円	単位:円	単位:円	単位:円	単位:円	単位:円	単位:円	単位:円	単位:円

「夏の思い出」

森川 節子

祖父は必ず立ち止まり、軽く手を
上げて、しばらくこちらを振り向い
てくれた。私はいつも、再び歩き出
した祖父の丸い背中が見えなくな
るまでずっと手を振り続けた。その
縁側からは遠く北アルプスが雲に浮
んで青く見えていた。
大学に入り、突然山に登ってみた
くなった。「岳文会」という同好会に
入るきっかけは、あの縁側から眺め
た美しい青い北アルプスだった。今で
も時折、近くの山に登っている。
(H2文)

インタビュー

(重原眞知子さん・S30文)

私とゲーテとの出会い

当会員の重原眞知子さんに、編集担当の岡田がライフワークにされているゲーテ研究などについて伺いました。

●台湾でお生まれになったそうですが

台中で生まれ育ち、女学校二年生の時に敗戦を迎えて家族皆で日本に戻りました。敗戦により状況ががらりと変わるといって植民地時代の経験から、物事を客観的に、いろいろ距離をおいて観ることができるようになったと思います。

●早稲田の独文科を志望されたのは

父も早稲田の政経を出ており大学の自由な風が自分に合っていたのではと。またシューベルトなどの歌が好きでした。フランス語よりドイツ語の響きが好んで独文科に入りゲーテを学びました。

●ドイツ文学の研究、翻訳ではご苦労がありましたか

卒業後三十年はドイツ語と離れていました。早大勤務の夫(当会会員重原淳郎氏)が



重原さん

ドイツに留学することになり仕方なく始めたという感じです。帰国後はドイツ語学校に通い、一から勉強し直しました。四人のグループで翻訳を数冊した後「クリスティアーネ」という本と出会います。卒論では「ファウストの人間とグレートヒェン悲劇」を扱ったので、ゲーテを取りまく女性に女性として興味がありました。ゲーテ家の家政婦的存在であったクリスティアーネがどうして彼の妻になったのかは学生時代からの疑問でした。是非訳したいと思い翻訳権をとりました。翻訳の完成に五年かかり「ゲーテが愛した妻クリスティアーネ」が出版されたのは六十歳を過ぎていました。長い道のりでしたが、これでやっと宿題を済ませたという感慨でした。

●第二回雑学講座で講演されましたね

ええ。その後に大西会長(当時)のご紹介で東京雑学講座(西東京市)でも講演しました。平成十三年には早稲田大学でも講演させていただきました。

●ゲーテ研究の魅力は何でしょう

ゲーテは非常に自然な人です。八三歳まで生きますが、幼年期は実在主義、青年期は観念的になり、壮年期は懐疑論者、老年期は神秘主義者と、年齢段階をたどっていくととても魅力的です。彼自身はおおらかに人間の限界を心得ており、生き方において勉強になります。女性との関係でも、世間的

には馬鹿にされているクリスティアーネを最後まで大事にした人間的な倫理性に惹かれます。

●現在のご夫婦での生活、ご興味、将来はどんなことをしてみたいですか

ドイツ語に関しては夫に教えを乞いますが、日常生活ではテレビや新聞などのテーマについて会話の多い夫婦です。共通の趣味は旅行ですが、観光より歴史的探訪が主です。ドイツリート(歌曲)やドイツ語の詩の朗読も楽しんでます。体力が許せばもう一度ゲーテ街道をたどってみたいと思います。

●稲門会に望むこと、期待することは

今までの活動に感心しています。雑学講座も、東村山市民の方々を含めて大きな文化活動になればよいですね。

●重原さんが翻訳された主な出版物

『女ユタたち』『ドイツの母より娘へ』『最後の魔女アンナ・ゲルティン』(以上共訳)『ゲーテが愛した妻クリスティアーネ』

(まとめ 中村真弓 S59文)

東村山稲門会 設立10周年記念

ボニージャックスと歌おう!

BONNY JACKS

11月25日(土)

東村山市立中央公民館ホール

開場/13:00 開演/13:30(終演15:00)

●入場無料 このイベントのご入場には、「入場整理券」が必要です。

10月31日(清田有効)までに、東村山稲門会事務局(〒189-0011 東村山市西多町5-24-27 小島方)宛に必ず整理券はがき(1枚1人)でお申込みください。後日「入場整理券」を返送しますのでお預けください。

※定額多額の場合は協議になります。※会場での申込みは受け付けておりません。※他会場からの入場はご遠慮ください。

主催●早稲田大学東村山稲門会 後援●東村山市・東村山市教育委員会

東村山稲門会

設立十周年記念イベント

「東村山稲門会の歌」制定およびボニージャックス公演と総会等開催のご案内

日 時 十一月二十五日(土)

場 所 東村山市立中央公民館ホール(イトーヨーカ堂並び)

一、ボニージャックス公演

開場: 十三時
開演: 十三時三十分
終演: 十五時

一、設立十周年記念総会

会場: 東村山市立中央公民館ホール
時間: 十五時十五分〜十八時
なお、「東村山稲門会の歌」の発表と、歌唱指導がボニージャックスにより行われます。

一、懇親会

会場: 菊水グルメ ビル二階
菊水宴会ホール
栄町一―二十三―一
電話 (三九一―〇七〇〇)
時間: 十七時〜十九時三十分

特集Ⅰ

東村山稲門会、設立の経緯

東村山稲門会は、平成八年十一月十一日に発足し、本年で十年を迎えました。
この会を立ち上げられた三人の方に設立時の様子を伺いました。

水野 要さん

(S40商院)

十周年ですか。それは本当におめでとございます。
当時、私が勤務していた東村山市役所には五名の卒業生がいましたが、その大半のものは発足の条件が整わないとの屁理屈で、なかなか協力が得られませんでした。

しかし、最初から初代会長の大西先輩をはじめ設立準備委員皆の熱い志があり、毎回の準備会の出席にも丁寧にお願ひするなど、結果を焦らず一年余という醗酵する時間をとりました。他方、準備委員同士の密なる交流を重ねました。会合後の「コンパ」を、その都度深夜までやりました。

リタイアされている先輩は、次の日「日曜日」でしたが、私ら勤務者は大変でした。しかし、このような向こう見ずな「若さ」が設立へと結び付いたと思います。いやそれだけでなく、今日の花見や「カラオケ同好会」などとして結実しているのではないのでしょうか。(現在、富山県滑川市在住)

大西 幸夫さん(S30理工)

東村山稲門会設立の契機は、平成七年四月、現当会会員の上山雄さんが東村山市の市長選に立候補したさい、奥島孝康前早稲田大学総長を応援のためお迎えして、西武園のメンバーにて「東村山の

教育と文化を考える会」が開催されました。そして奥島さんを囲む会食の席上で「東村山にも稲門会をつくらう」という話が話題になりました。その席には、当時、

早稲田大学の学生生活センター所長の小亀輝雄さん、同じく財務部長だった井原徹さんら錚々たる人たちがいたので、大いに盛り上がりしました。その後、市役所の健康部の部長だった水野要さんが、稲門会設立に向かつての打ち合わせ会を毎月設定してくれましたので、作業は順調に進みました。

そして、「稲門会設立について、一部の有志だけで市内在住の同窓生に周知しないのは失礼ではないだろうか」という話があり、大学から市内在住同窓生のリストを手して、全員に案内を送り、

同年九月三十日に市民センター別館にて設立準備総会を開催し、約九十名のかたがたの参加を得、設立準備のための世話役(幹事)を約二十名のかたにお引き受けいただきました。その後、約二ヶ月おきに設立準備のための幹事会を開催し、ようやく設立にこぎつけることができました。

三宅 良太さん(S36商)

東村山稲門会が今秋十周年を迎えることになりました。

設立に向けて有志が

度々集まり協議の後、やっと設立にこぎつけたこと、そして当時大変ご多忙の中ご尽力をいただいた水野要さんはじめ諸氏のお顔が次々浮かんできます。

以来、各種同好会の活動、稲門会ニュース・会報の発行、雑学講座の開催、会員の誕生会、お花見、納涼会等を実施してきました。この頃特に痛感するのは、稲門会幹事・会員皆様のまとまりの良さ、確固たる連帯感、そして黙々と骨身を惜しまぬ姿勢に心から敬意を表したいと思います。

本日に稲門会があるおかげで、退職後も校友というご縁でお付き合いができ、充実した日々を過ごすことができ、感謝しております。

吉田 勝

「傘寿までテニスとゴルフのプレーを目指して」

ができました。先日所属のクラブで米寿の方と一緒にラウンドしました。飛距離こそ出ないもののカートに最後まで乗らず、上がってみればかた回り以上年下の私が脱帽でした。テニスも八十過ぎても試合に出るような人もおり、私も健康管理とトレーニングに励んで是非八十過ぎまで夫婦でテニスとゴルフを続けたいと思っています。東村山稲門会のテニスやゴルフにもなかなか予定が合わず参加する機会が少ないのですが、またこれから二十年ありますので末永いお付き合いをさせて頂きたいです。(S43理工)



東村山稲門会の発会式に参加された皆さん (平成8年11月11日)

特集Ⅱ

東村山稲門会の活動

東村山稲門会ではどのような活動を行っているのか、次にご紹介します。

総会

東村山稲門会の最高の意思決定機関で、毎年十一月に開催されます。早稲田大学や近隣稲門会からの来賓をはじめ百名を越す会員が集まり、盛大に挙行されます。本年は設立十周年ということで、総会の前イベントにはボニージャックスを招き、一般の市民にも開放した催しがあります。総会終了後は、懇親会です。会場では、月例会でいつも会う人、一年ぶりで再会する人などで、和やかに歓談し、話が弾みます。最後は校歌・応援歌の斉唱、幾つになっても胸が熱くなります。

役員会

原則として毎月第一土曜日の午後に行われます。この役員会の特徴は、会員の誰でも出席できることです。

この会では、さまざまな行事や計画を具体的に話し合い、実行に移すことは勿論、



外国人講師も登場
——国際的雑学講座

役員会に先立ち、月に一回発行している「東村山稲門会ニュース」の封筒入れの作業も参加者全員で行っ

ています。役員会の終了後は、誕生会を兼ねた月例会の懇親会、そしてその後はカラオケに流れていく人もいます。

稲門会ニュース・会報の発行

「東村山稲門会ニュース」は毎月発行しています。最近ではカラー版となりました。このように月刊で発行するというのは、他の稲門会には見られないものです。それだけに担当者の苦労は並大抵ではありません。企画、割付、打ち込み、校正、印刷、製本……と、ハードなスケジュールで毎月追い回されています。

このようにして作られたニュースは、各地域のポストマンによって、直接会員宅まで届けられます。

「会報」は、年一回の発行です。東村山稲門会が発足した初年度から発刊されていますので、この号は「第十号」となります。「会報」は、東村山稲門会の活動状況、会員からの寄稿などの他に、母校早稲田大学の最新のニュースなども掲載しています。

花見

四月、多摩湖畔で開催していますが、日程の決め方が難しい。今年は珍しくドン・ピシャリで、桜花爛漫のもと開催することができました。

年によつては一輪の花もないときもありましたが、それはそれで野外で杯を酌み交

わすのも、また格別に趣のあるものです。地域社会の花見が少なくなってきた現在の、貴重なものとして今後も続けていきたいものです。

納涼会

当会員の當間昭治さんの庭園をお借りして毎年夏、開催しています。當間家は東村山の旧家で、その広い芝生の庭園は野外パーティを開く絶好の場所としてご提供いただいております。会員は勿論、その家族のかた、それに早稲田大学から応援団の学生が参加することもあり、毎年盛大に行われています。夜風にあたりながら、星空のもとで飲む美酒は格別なものです。

誕生会

毎月開かれる役員会の後に開催される懇親会場で誕生会を行っています。昨年十月より始めた新企画ですが、会を重ねることに参加する会員の皆様が多くなりました。誕生月をご連絡いただいたいるかたには、事前にはがきでご出席の有無をお尋ねしておりますので、ぜひご出席いただきたいものです。

東村山稲門会では、会員同志の相互啓発のみならず一

東村山雑学講座

東村山稲門会では、会員同志の相互啓発のみならず一

般市民も巻き込んで、東村山市の文化向上、街づくりに貢献できる活気ある会にするを目的としています。

このような目的で始めた雑学講座は、第一回を平成十一年一月にスタートさせ、隔月開催を原則に一回の休みもなく続けてきました。本年の十一月で四十八回目を迎えます。

講師には、当会の会員は無論のこと、大学教授、弁護士、医師、作家、落語家、ジャーナリスト、ピアニストなど多彩なジャンルの中から選んで講演していただいております。今年は十周年の記念すべき年にあたりますので、特にボニージャックスに依頼しました。東村山稲門会の総会の当日に中央公民館ホールで開催しますので、ぜひご来場ください。

藤澤 博 恭

「老いを楽しむ」

人間は天与の智慧に著り、科学の力で地球を征服していると錯覚している。これは人類の傲慢であり、智慧が自然環境を破壊して、只管破滅への道を歩んでいるのではない。四十五億年の地球歴史の中で人間の存在はほんの一瞬に過ぎず、人は誰でもやがて土に還る。老いを悟って人間の小ささを知り、自然の中で生かされている喜びを謙虚に受け止めて、残された日々を大自然と融和して悠々と楽しんでいる(明日)の頃である。

(S29政経)

同好会の活動

●カフオケ同好会

内藤 慎(S28商)

例会は毎月月初めの土曜日、役員会の後、十九時より栄町の「ドレミ」で開いています。座興としての採点ゲームでは、皆さん高得点をあげています。年一回は新宿での移動教室を行い、楽しいひと時をすごしています。

●旅行同好会

風間 和夫(S30法)

原則年一回の東村山発着のチャーターバスを利用しての旅を楽しむ同好会です。地元発着ということが好評です。日中は研修を兼ねての観光。夜は親睦を更に深める懇親会。華の宴会で盛り上がり、話弾んでの二次会と深更まで続きます。

●俳句同好会

高杉 風至(S32教育)

四年前の四月に第一回が開かれ、以来二ヶ月に一度の句会を楽しんでいます。句会には全出句から各自が選んだ句について感想や意見を交換し、和気藹々と学びます。また、会員で野に出たり、名所を訪ねて一緒に作句したりしています。皆様も、ぜひご参加ください。

●囲碁同好会

野村 保夫(S31政経)

市民センターで隔月開催しています。年二回は同好



今宵もまた「都の西北…」(今年の旅行同好会)

会の大会もあります。また、年一回、オール早稲田開基大会があり、例年健闘しています。碁を打つと脳の前頭野が活性化するというわけボケ防止にもなります。楽しく、長生きしましょう。

●郷土史の会

三宅 良太(S36商)

平成九年三月初会合を開き、ふるさと歴史館の小峰孝男氏より「郷土史の勉強の仕方」についてレクチャーを受け、以来多くの方々に講師をお願いして勉強会を催し、通算二十三回となります。折角始めたことであり、今後も継続できればと考えております。

●園芸の会

三宅 良太(S36商)

平成十年三月初会合「鉢植え栽培の基礎等」藤澤博恭氏のお話から始めて今年八月のさき草の品評会で三十八回目。その間、さき草、さくら草の育て方、鑑賞会、春秋の苗の交換会、十六年七月には月山・高山植物見学旅行、神代植物公園や三鷹の三橋俊治氏宅へ野生蘭を拝見と、ご夫人方を交えて楽しく会を重ねています。

●三方同好会

大西 幸夫(S30理工)

ヨガというエクササイズのような姿勢をイメージされるかたが多いと思いますが、昔、インドで心身の健康のために開発されたもので、所謂ストレッチ体操のようなものです。われわれは年寄り向きに畳の上で

座ったり、横になった姿勢で行っていますから、健康で人生を全うしたいと考えているかたは、ぜひご参加ください。

●二又同好会

當間 昭治(S43法)

スタートは旧埼玉銀行新所沢社宅のコートでした。その後、早稲田の所沢キャンパスを使用したこともありましたが、現在は久米川コートの3番をベースに、月一回の例会で汗を流しています。世話人はじめ初心者の集まりで、二時間を楽しく過ごすのが主目的。ご家族のかたも気軽にご参加ください。

●麻雀同好会

小野 智(S30政経)

本年六月十一日、第三十五回大会を開催。大会は年一回。半チャン四回の総得点で順位が決まり、賞は持ち回りの優勝カップ。順位に応じて賞金が授与されます。終了後、表彰式、懇親会を行い、毎回盛況で楽しい会。国分寺雀士との交流もあります。

●ゴルフ同好会

堀田 秀夫(S38文)

十年前に西武園ゴルフ場で産声をあげた最古参の同好会です。今年九月十日に第二十回の記念コンペを盛大に催しました。四十名の仲間が腕前と口前で楽しんでいました。シングルさんもビギナーさんも皆いらっしやい。お待ちしております。

特集Ⅲ 東村山稲門会の夢…

これから東村山稲門会はどうあるべきか。お三方に抱負、夢などを語っていただきました。

井垣 和太さん

(S37商)

この歳で夢を語れとは、お主も罪なことを言うよ。東村山稲門会で十年間、良い思いをさせてきてもらったから、この先も思い残すことなくのんびりと「東村山稲門会」の居心地の良さを満喫させてもらう積もりじゃから。

なにか社会的に役に立ちたいなら、NP Oでもボランティア団体でも、今の世の中は

東村山稲門会の歌

作詞／十周年記念委員会編
作曲／ボニージャックス

一、多摩湖の水面陽に輝きて
進取の精神学びたる
青春の日を想い出す
我ら稲門集まるところ
早稲田 早稲田 早稲田
東村山稲門会

二、八国山に溢れるみどり
北山に咲く花菖蒲
東村山ここに住む
我ら稲門語らうところ
早稲田 早稲田 早稲田
東村山稲門会

三、永久の絆の心は一つ
久遠の理想確かなる
母校の栄誉引き継がん
我ら稲門飛翔のところ
早稲田 早稲田 早稲田
東村山稲門会

〈解説〉

当稲門会の設立十周年記念委員会の「東村山稲門会の歌」歌詞募集に五名の会員の応募がありました。応募者の承諾を得て、五編の歌詞を基に新たな歌詞を制定したことで作詞は十周年記念委員会編としました。

作曲はボニージャックスです。機会ある毎に口ずさみ、心に宿る会歌になることを期待します。

WASEDA NEWS

「助教授」が「准教授」、「助手」が「助教」へ

学校教育法の改正に伴い、早稲田大学でも教員制度が大きく変わろうとしています。2007年4月から「准教授」および「助教」制度が導入されます。

文部科学省は学校教育法を改正し、助教授職を廃止し**准教授職**を新設します。現行の学校教育法では、助教授は「教授の職務を助ける」とされており、「助ける」という職名からは必ずしも教育研究を主とする者という理解が得られていませんでした。また、助教授を英語で訳す場合も、「共同で」という意味の associate professor でなく、「補助の」という意味合いの assistant professor とされる場合があるなど、国際的な通用性という面において適切ではありませんでした。

助手職についても同様です。現行の学校教育法では、助手職は「教授および助教授の職務を助ける」と規定され、将来の教員や研究者をめざす者もいれば、教育研究の補助を行う者などさまざまです。しかも、研究しながら補助的業務にも従事しなければならないことが多いのが現状です。

そこで文部科学省は新学校教育法で、現行の助手のうち、主として教育研究を行う者を**助教**と置き換えることにしています。また、助教を設けた後も、教育研究を補助する職務は重要であるため、「教育の円滑な実施に必要な業務に従事する」者として**助手**を規定することになりました。

早大初の女性学部長が就任

本年9月、齋藤美穂教授(51)が人間科学部や大学院を総括する人間科学学術院長に選出され、学部長も兼任することになりました。齋藤新学部長は早大大学院で色彩心理学を専攻。太陽の色、肌の色など文化によって異なる色彩認識の研究で著名です。企業と協同で色と香りの組み合わせによる相乗効果を心理学的、生理学的に研究したほか、中国で美白嗜好の研究も行っています。

研究成果を踏まえた講義は早稲田祭で「一番おもしろい授業」に選ばれるほど学生に人気がある。今後の活躍が期待されます。

司法試験合格者 2年連続の首位!

■司法試験合格者数<2005年度> ()は2004年度

- ①早稲田大学 228(226) ②東京大学 225(226)
③慶応大学 132(170) ④中央大学 122(121)
⑤京都大学 116(147)

■国家公務員Ⅰ種試験合格者数

- ①東京大学 454(498) ②京都大学 191(221)
③早稲田大学 128(125) ④北海道大学 74(60)
⑤慶応大学 73(85)

■公認会計士試験合格者数

- 早稲田大学 159(153)

※大学ごとの人数は発表されていません。

小亀輝雄さん

(S34商)

まず、市内に広いマンションを確保し、役員会をやったり、会員が自由に出入りできてくつろげる場を確保する。また、市内在学の高校生が早稲田大学に入学したら歓迎会を開催し在学生との交流を深める。経済的に困っている学生には当稲門会の奨学金を貸与する。東村山市の姉妹都市である柏崎稲門会等、地方の稲門会との交流を深め、相互にホームステイを行ったり、特産物を交換したりする。平均寿命まであと十年……。ジャンボ宝くじが当たるか、全ては真夏の夜の夢か?

岡田一郎さん

(S40商)

役員会や雑学講座会場の確保には設立以来苦慮している。来る設立二十周年を迎える平成二十八年事業には、会員専用の「東村山稲門会の家」を新設したい。会員が気兼ねなく立ち寄れるコミュニティの場であり、事務局が設けられることは勿論、各種同好会の会場として使途できる形を整えたい。アクセスの良い駅前マンションの一階を確保し、シブリング設計を行えば、五百名会員に拡充した十年後に実現も可能では。「早稲田OBの快挙」とマスコミで話題沸騰。

〔特集〕の構成 高鷲 近 S35文

ポストマン
くばりある記

7



久米川町一丁目
二丁目の巻

岡原裕泰

ポストマンの発案

者は塩見さんです。

二ユースを毎月発行し、これを郵送すると、会費の三割近くが費え、会の運営や継続を圧迫する。ボランティアが直接会員に届けるポストマンの提案です。私はこれに賛同し、当初より久米川一、二丁目を担当しています。勤めの関係で、月例会には殆ど出席出来

ず、封書の束を當面昭治さんから預かり配布しています。貴重な情報をできるだけ早く会員に届けることをモットーに頑張っています。癌で入院中は妻が「やつといたわよ」と報告してくれた時の安堵感と嬉しさは今でも鮮明です。

(S39文)

西北の風

早稲田の学舎を卒業して二十五年後に最初のホームカミングデーがあり学生時代の仲間六人が集まり、酒を酌み交わしながらお決まりの近況報告。私の番になり「早稲田に学ぶ留学生のホストファミリーを引き受けている。皆一様に驚く。」「どうして大変だな、子供が三人居て四人目か。」等等。きつかけは早稲田学報ホストファミリー募集の囲み記事。年間百二十人程の留学生が世界各国からワセタに来る。できれば日本の家庭で暮らした

「ホストファミリー四年生」

吉高 太郎

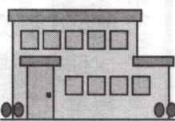
い。ホストファミリーの受け手が足りないとのこと。条件は一部屋の提供と朝夕の食事を出すこと。日頃から私は機会があれば己の人生、生き方に大きな影響を与えてくれた母校に恩返しをしたいと思っていた。「よしこれだ」妻も二つ返事でOKし、早速手続きに入った。担当のコーディネーターも勿論早稲田。我が家をもてらいた早速平成十四年九月に一人目の学生を受け入れた。不安は殆どなかった。夫婦とも物事に拘らず、根っからの楽家。子供が一人増えただけで考えればどうということもない。

あつという間にもう四人目となり、今年九月からは五人目が我が家族の一員に加わった。

過去の四人は全員がアメリカの大学生で、アメリカ人が三人、トルコ人が一人、毎年男子女子を交互に。共通しているは純朴、勉強家、子供好き、社交的。日本語はアメリカで単位を取得しており、漢字も三百は書ける。食事も特別扱いトルコ人が宗教上の理由で豚肉を食しないという以外は全く気遣い無用。どなたか私という方はご連絡をお待ちしています。なお、私達夫婦の今後の楽しみは、我が家に集まり散じた異国の子供達の成長振りを訪ね歩く旅の実現である。

(S3政経)

事務局から



★設立十周年記念号会報が、編集委員の岡田さん、高鷲さん、中村(眞弓)さんの尽力により会員皆様のお手元にお届けできることになりました。

★この会報は、東村山市在住の校友で当稲門会に未加入の方にもお送り致しましたので、この機会に是非ご加入下さい。当会に関するお問い合わせは下記事務局にご連絡下さい。

★本年度の新人会員の皆様(敬称略)

小川 靖郎	昭38	政経
福田 昇七	昭36	理工院
仲 俊次	昭43	教育
石塚 征雄	昭40	政経
新堀 徳明	平18	社会学

★例会にご参加下さい。毎月、第一土曜

ビールを楽しむ

遠藤 誠

海外旅行された方は、その国々特有のビールにめぐり合っているかと思えます。ベルギー、ドイツ、イギリス等が有名で、多種多様なビールが楽しめます。日本はラガー、発泡酒、第二のビールと麦芽量で分類されますが、味はドライなすっきり系で、一気に飲めるものが好まれます。日本にも各地に小さな醸造所があり、様々なビールを造っています。フルーティーなさわやかな系、苦味やホップの香りの強い淡色系、コクや甘味のある

LINE SHORT

濃色系、高アルコール度系と組合せればビールだけでも飽きません。「こりあえすビール」の日本のビール文化から脱出しようと広く世界のビールを嗜むビール同好会に入り楽しんでいます。同好の方、参加しませんか。

(S49理工院)

多くの球技ではサーブ・エースをとることが、そのゲームに勝つことの重要なポイントとなります。選手はサーブのスピードを増すことや、変化をつけたりするこに躍起です。本来サー

ビスとは「人のために力を尽くすこと。奉仕(大辞泉)」です。相手の打ちやすいボールを送ることで、エースをとるのは言語道断なのです。ラケットスポーツの原型は二世紀頃のフランスで行われていた手のひらでボールを打つ「フィアス(6本指)」や「ジュド・ボーム」といったゲームがルーツと言われている。サーブでは、何回続いたかを競ったことに始まります。バドミントンでは、当時女の子が二一七回続けた記録がありますが、おそらく半日は費やしたと推測されます。近代競技では、あまりにもサーブ・エースが多いため、エースとならないような工夫もされています。例えば、卓球はボールを大きく、テニスは弾まないコートに、バドミントンは腰より下で打たせたりしているのが、選手の技能がそれを上まわっているようです。東村山稲門会テニスクラブでもいちど何回続いたかで勝負するのも一興かと思えます。

(S43教育)

少子化と不動産相場

姫野 圭治

私は東村山市を中心にした不動産取引の仕事をしており、マンションや一戸建ての売買を通じて感じること

は、一戸建ての単身世帯が目立つて増えていることです。そして以前は畑だったところが開発分譲され、新規住宅も増加しています。一方で一九六六年に計画がスタートした千葉ニュータウンは、幾度もの計画見直しを経て、現在も人気を集め人口を増やしています。少子化が続けば、住宅の需要は相対的に減少し、再び地価は下落するものと思われれます。セキユリティーや「ミニエーション」を重視した、地域ごとに魅力のある街づくりを行うことで、不動産価格の下落を防ぐことができると思われれます。

(S46人科)

SHORT

新たな気概で企画した当記念号は早期着手と中村女史の新参加が結実したものである。会設立に奔走した先人の献身的な活動経緯を紐解き、その後の会運営の歴史と着実な実績とを概観する今日、先導者達の志と情熱に敬意を表する。

設立十年の節目に稲門仲間のエネルギーと無垢な地域愛が全国稲門会で初の市民招待ポニージャックス公演の実現までに昇華した同志の屈強な結束力と精神を讃辞したい。(岡田)

編集後記

事務局
東村山市恩多町五二四二七
電話 (394) 6951
小亀 輝雄 気付

日(原則)の午後市民センター等で例会を開催しています。奇数月は役員会に引き続き「東村山雑学講座」を、偶数月は役員会のみを実施。日時と場所は毎月発行の「稲門会ニュース」でお知らせします。

★会費納入は年内に振り込みを。平成十八年度(十八年十月～十九年九月)会費五千円(三千五百円+125周年寄付千五百円)は、十一月の総会の受付時、又は左記の口座へ振り込んで下さい。

△郵便振替口座 番号V
001600-0112250
名義 東村山稲門会
△銀行普通預金口座V
みずほ銀行久米川支店
口座番号 1876057
名義 早稲田大学東村山稲門会